

## 遠隔で2現場の安全パトロール

佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は東北、関東、西日本の3支店が施工する現場の安全パトロールを17日から開始した。6月の全国安全週間準備月間にあわせて実施。3カ所の現場を巡視する。新型コロナウイルスの流行で3密(密閉・密集・密接)の回避が求められていることから、ウェブ会議を利用した遠隔方式を採用している。

パトロールでは現場の安全対策が必要な場所などを

現場社員がスマートフォンで撮影。石井社長らが遠隔でチェックした。パトロールを実施したの



遠隔で現場を巡視する石井社長(写真左奥)

は▽千代ノ藤地区舗装工事(発注・国土交通省東北地方整備局)▽R1中部横断道丸滝トンネル他舗装工事(国交省関東地方整備局)の2カ所。重機と人との分離状況、誘導員の配置状況、重機オペレーターの有資格証の携帯状況などを点検・確認した。

7月1日には「平成31-32年度新猪ノ鼻トンネル舗装(徳島工区)工事」(国交省四国地方整備局)を予定している。

2現場をチェックした石井社長は「引き続き新型コロナウイルスの感染防止対策は継続する必要がある。最終的に

は自分の身は自分で守るという意識を強く持つことが重要だ。今後は熱中症対策も求められる。現場で働く皆さんの体調管理に万全を期してもらいたい」と呼び掛けた。

